

# 1 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画とは

## (1) 計画改定の背景

町田薬師池公園四季彩の杜（以下「四季彩の杜」という。）は、町田市を代表する公園である薬師池をはじめ、西園（ウェルカムゲート）、リス園、ぼたん園、ダリア園、七国山など、観光施設や豊かな自然環境、歴史的資産を有した市の中央部に位置する広域なエリアの総称です。

町田市では、四季彩の杜が“地域への愛着や誇りが醸成されるような観光拠点”となることを目指して、2014年6月に「町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画」を策定し、これまで多くの事業を展開してきました。こうした取組の成果により、四季彩の杜全体の来園者数は毎年増加しており、2022年度は延べ134万人と過去最高の賑わいをみせています。特に、2020年4月に開園した西園は、市内外からも多くの方が訪れ、来訪者から高い満足度を得ています。

また、西園の開園とともに、ブランドロゴやブランド・アイデンティティを使った一体的なプロモーション活動をはじめとした四季彩の杜全体でのブランディングを本格的に展開しています。これにより来訪者の増加などの一定の成果がみられる一方で、アンケート調査では四季彩の杜の認知度不足等の課題が表れています。

2022年度にスタートした「まちだ未来づくりビジョン2040」<sup>※1</sup>や「ゼロカーボンシティまちだ」<sup>※2</sup>の実現、持続可能な世界を実現するための国際社会全体の開発目標（SDGs）<sup>※3</sup>の達成に向けて、四季彩の杜がさらに魅力的なエリアとなるように、各関係主体が一体となり取り組む必要があります。

## (2) 計画の目的

本計画は、エリア全体に賑わいを創出するとともに、効率的で効果的なエリア管理や運営を行うための、これからの四季彩の杜の方向性を示すことを目的とします。町田を代表する観光拠点として、市内外から多くの方が訪れる「町田のシンボル」となるエリアを目指します。

## (3) 計画の期間

本計画の実施期間は2023年度から2032年度の10年間とします。

また、2033年度以降にも継承したい取組について「5 未来への継承」において記載していません。

※1 まちだ未来づくりビジョン 2040：2040年に向けて、誰もが夢を持ち、幸せを感じることができるまち、「なんだかんだ言っても、やっぱりまちだが一番」と思えるまちを目指すために、市民をはじめとした多くの人たちの声や思いからつくった町田市の基本構想・基本計画。

※2 ゼロカーボンシティまちだ：脱炭素社会の実現に向け、再生可能エネルギーの利用拡大と地産地消の取組を進め、温室効果ガス排出実質ゼロを目指す、環境先進都市をいう。

※3 SDGs：Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略。2015年9月の国連サミットで採択された2030年までの国際目標であり、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されている。

#### (4) 計画の対象

本計画の対象は、四季彩の杜を構成する以下の施設とします。

※本計画では、四季彩の杜全体を「エリア」、個々の施設や公園を「施設」という表現で統一します。（参考資料3.施設概要参照）

- ① 薬師池（町田市フォトサロンを含む）
- ② 西園（ウェルカムゲートを含む）
- ③ リス園
- ④ ぼたん園（民権の森緑地保全地域を含む）
- ⑤ 北園（七国山ファーマーズセンター、ふるさと農具館を含む）
- ⑥ 七国山
- ⑦ ダリア園
- ⑧ 南園（えびね苑を含む）



## (5) 計画の位置づけ

本計画は、「まちだ未来づくりビジョン2040」に掲げる“なりたいまちの姿”に至るための関連する政策（「政策3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる」、「政策8 思わず出歩きたくなるまちになる」）及び町田市観光まちづくり基本方針の施策（基本施策1 町田ならではの地域素材の洗い出し・磨き上げ）に対応します。また、町田市都市づくりのマスタープランについても対応するとともに、コンテンツ編の「まちづくり構想等」に位置づけます。さらに、他の関連計画との整合を図りながら事業を推進します。

